

北の大地で
少年よ、動物たちよ、大志を抱け。



発行 一般財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条8丁目6-6
電話(011)824-1348 FAX(011)824-1627

道薬検

検索

～北海道の野生動物～

どうやくけん
健康Book Vol.37

北の大地で、ともに暮らす仲間たち。

監修:北海道環境生活部環境局 生物多様性保全課



先生、「北海道の野生動物」のこと、もっともっと知りたいんだけど。

ボク、北野大地。小学5年生。みどりちゃんは生物クラブで活動するボクの相棒。頼りになるヨ。近頃気になるのは「北海道の野生動物とかれらが暮らす環境」のこと。どうしてかって？ボクら人間も動物たちも同じ北海道に暮らす仲間だから、もっとお隣さんのことを知って、“ナッキー”のように仲良く付き合えたらイイなって思ったからさ。

顧問の倉久先生にはいつも質問攻めで困らせて、ゴメンなさい。

同じ北海道で身近に暮らす動物たちのこと、もっと知らなきゃね。

北海道には他の地域と違う種類の動物が多いのはなぜかしら？

人間って身勝手だから、迷惑してるのはオイラたちだけ！

北野大地くん
元気ハツラツだけど
そそっかしい一面も。

山川みどりちゃん
しっかり者のキュートな女の子

エゾナキウサギの
“ナッキー”
子供たちの友達。
一見可愛らしいけど、
ちよいとツッパリで
負けず嫌い。

それじゃあ、
早速みんな考えてたり、
調べてみようか。
“少年よ、大志を抱け！”

倉久先生
子供たちの担任で
「生物クラブ」の顧問。
口癖は
“少年よ、大志を抱け！”



オイラ、いつか本州でも暮らしてみたいな。

独自に分化した北海道の野生動物

数万年前、津軽海峡や宗谷海峡が出現して、北海道に棲む哺乳類は本州や大陸との往来ができなくなり、あるものは絶滅し、あるものは隔離され、独自に分化しました。海峡が哺乳類や留鳥(野鳥)にとって分布を妨げる障害となったのです。とりわけ津軽海峡を境にして生物の分布が大きく変わるため、この境界線を「ブラキストン線」(*註1)と呼びます。

例えば北海道のヒグマやナキウサギ、シマフクロウなどは本州には生息していないのに対し、ツキノワグマやニホンザルなどの本州の動物はこの線を北限としています。

(*註1)「ブラキストン線」:幕末から明治期にかけて日本に滞在した英国の軍人・動物学者トーマス・ブラキストンによって提唱された生物相の分布境界線。

はじめに

豊かな自然環境に恵まれた北の大地には多くの動植物が生息・生育し、わが国でも特有の生態系が形成されてきました。しかし、この地に開拓の鋤が入って150年余り。過度な開発行為や動植物の乱獲、違法採取により、多くの生物が絶滅の危機に瀕し、経済優先の産業活動や過剰な利便性を求める人間活動が自然環境を脅かしています。

また、近年では外来種の分布拡大や地球温暖化、異常気象などによる生態系への影響も指摘されています。

この冊子では「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」を参考に、北海道の野生動物たちを私たちと同じ大地に棲む仲間と捉え、その生態への理解を深めるとともに生物多様性保全の仕組みやルールについて考えていきます。

- 監修:北海道環境生活部環境局 生物多様性保全課
- 写真提供:(地独)北海道立総合研究機構 環境科学研究センター、北海道海鳥センター、オホーツクとっかりセンター(紋別市)、えりも町
- 引用:北海道HP「北海道デジタル図鑑」



北海道の大自然と野生動物のシンボルといえばヒグマ。 日本に生息する最大の陸上動物なんだね。

日本では北海道にしかないヒグマですが、実はヨーロッパからシベリア、北米に広く分布する「ハイイログマ」と同じ種類。北海道の開拓はつねにヒグマの恐怖と隣り合わせで、ヒグマに襲われたという話が今も各地に伝わっています。一方で、北海道を象徴するキャラクターとして土産品などのモチーフに使われ、愛される存在ともなっています。



ヒグマの生態を知ろう!

- 分類** ネコ目 クマ科 クマ属
- 形態** 体重はオスで150~400kg、メスで60~120kg程度。毛色は黒や褐色が多い。
- 生態** 眼はあまり良くないが、耳や鼻は鋭敏。身体能力に優れ、時速50kmで走ることができ、小さな個体であれば簡単に木に登る。基本的には単独で生活するが、子どもは生後1年半から2年半を母グマと過ごす。メスは何年も一定範囲で暮らし、行動圏は狭い(数km²~数十km²)がオスは数十km²から500km²と広い範囲を行動する。
- 冬眠と繁殖** 冬眠期間は12月~4月だが、その年の気候や地域の状況で異なる。出産は2~3年に一度。冬眠中の1月下旬から2月にかけて、1~3頭を産む。
- 食物** 基本的には植物を食べることが多い雑食性だが、草の葉から果実、木の実、昆虫、魚、哺乳類まで幅広く、季節によっても変化する。(春の主食はセリ科の草木、夏はアリ、秋はサケや木の実など)

陸の王者ヒグマさん。草食系の一面もあって、ホントは優しいかも?

以前札幌市内や島牧村に繰り返し出没したって話題になったわね。

ヒグマと出会わないために注意することを教えて!



北海道の多くの地域はヒグマの生息地であり、山菜採りや登山・釣りなどで野山に入るときは、ヒグマに出会わないようにすることが大切です。ヒグマの生息地では、単独行動や早朝・夕暮れ時の行動を避け、宿泊の際はテントと食糧、食事の場所は別々に! また、ゴミの投げ捨てやエサやりは厳禁。ゴミや人間の食べ物を覚えたヒグマは繰り返し現れ、人を襲ったりするようになるので、そのようなクマは自然界から排除しなければならないこともあります。不幸なクマを生まないように、ルールやマナーを守りましょう。

ヒグマとの事故をなくすために



最良の安全策は出会わないこと!

ルールやマナーを守ろう!

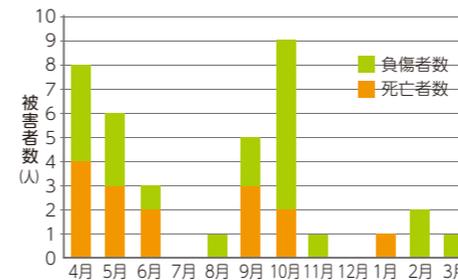
ゴミは持ち帰ってね!



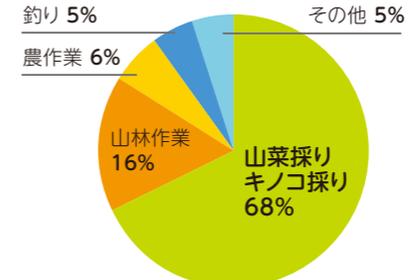
あなたがヒグマに出会わないためのルール

- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る
- 野山では音を出しながら歩く
- 薄暗いときには行動しない
- ひとりでは野山に入らない
- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- フンや足跡を見たら引き返す

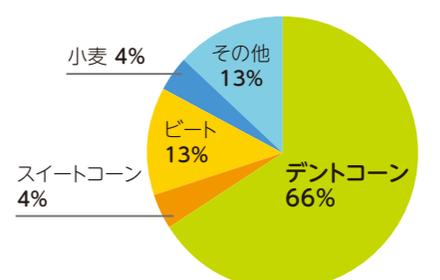
データ 1 人身被害は春と秋に多く発生
発生月別のヒグマによる人身被害者数
(平成元年度~平成29年度 狩猟者が被害者の事例を除く)



データ 2 被害の2/3は山菜・キノコ採りで発生
被害発生時の被害者の活動
(平成元年度~平成29年度 狩猟者が被害者の事例を除く)



データ 3 農業被害は毎年1億円超え
被害作物の内訳
平成29年度被害額は1億9千8百万円



人との共存に向けて

先住民のアイヌの人々にとって山の神として信仰の対象であったヒグマも、明治の開拓期以降は人間や家畜、農作物に被害を与える害獣であり、恐怖の対象でした。そのため、積極的に駆除・捕獲されてきました。平成に入り、生息環境の悪化もあり、地域によって個体数の減少が明らかになったため、「駆除から保護」へと政策が転換され、現在では科学的かつ計画的な保護管理により、人とのあつれきの低減を図りながら個体群を存続させる取組みなどが行われています。





② エゾシカ

この頃はエゾシカが増えすぎて困ってるって聞くけど、先生、じゃあ昔はどうだったの？

道東では車や鉄道で旅行するとエゾシカの群れをよく見かけるよね。北海道では近年エゾシカが増えすぎて、農林業被害や、車・JRの事故などが多発して社会問題になっているんだ。実はエゾシカの増加が問題視されたのは平成以降の30年ほどの話。昔、明治のはじめと大正時代にエゾシカが絶滅寸前となったので、禁猟期を設けて保護したもののいろいろな要因が重なって、近年急激に増えたんだ。現在の推定生息数は平成22年度の68万頭をピークに減少し、平成28年度は45万頭と推定されているんだよ。エゾシカと人間がこれから共存・共生していくためにはエゾシカの個体数を適正に管理して、捕獲したシカは天然資源として有効に活用することが大切なんだ。



オス(冬毛)



メス(夏毛)

オスシカが大きくて
ビックリよね！

有名な奈良のシカより
2倍くらい大きい
らしいよ

エゾシカの生態を知ろう！

分類 ウシ目 シカ科 シカ属に分類されるニホンジカの亜種

形態 一番太る時期である秋の体重はオスで150kg、メスで90kgを超す。これはニホンジカの中で最大。夏と冬で毛が生え変わる。夏毛は鹿の子模様で冬毛は灰色。角はオスだけに生え、毎年生え変わる。

生態 季節移動を行う動物。夏は比較的ばらけて住んでいるが、秋の繁殖期頃から越冬地への移動を開始する。森林やその周辺を主な生活場所とし、ほとんどの植物を食べる幅広い食性のため、農林業被害を引き起こしやすい。また、生息密度が極めて高くなると、植物を食い尽くすため、森林生態系や湿原生態系に大きな影響を与える。

繁殖力 一夫多妻制(ハレム)で、2歳以上のメスジカの妊娠率は90%を超えるため、ほぼすべてのメスジカが毎年1頭の子を産む。自然増加率を20%で考えると4年で生息数が2倍に増加するという驚異の繁殖力を持つ。メスジカの平均寿命は3~4歳、最長で20歳近くまで生きる。

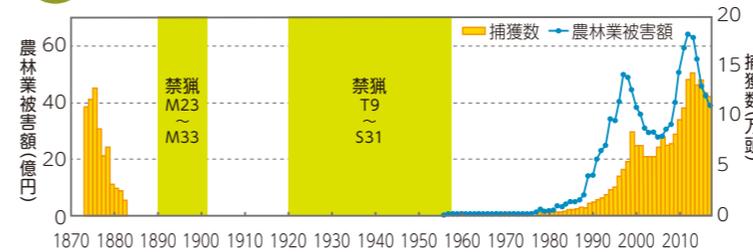
食物 草食で、植物質のものであれば何でも食べる。夏には山に生えている草のほか、牧草や野菜などを食べることもある。冬はササや木の皮くらいしか食べるものがないため秋まで食いだめして脂肪を蓄え、冬は貯めたエネルギーを使って過ごす。

エゾシカが増えたのはなぜ？

- 長期間の保護政策
- 高い繁殖能力
- 気温上昇と積雪の減少
- 天敵エゾオオカミの絶滅
- 狩猟者の減少・高齢化
- エゾシカの活用文化の消失(毛皮利用など)
- ササ類(冬季の餌)が増えたこと
- 牧草地の拡大等による良質な餌の確保

下のようなさまざまな
要因の複合と考えられるよ。

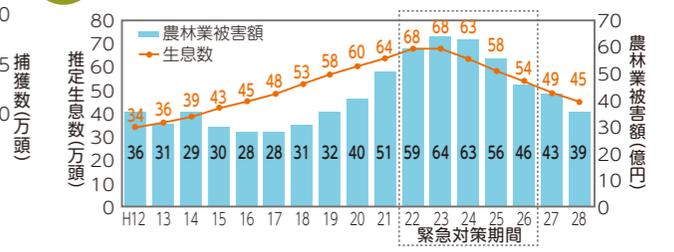
データ 4 エゾシカの捕獲数と被害額の推移



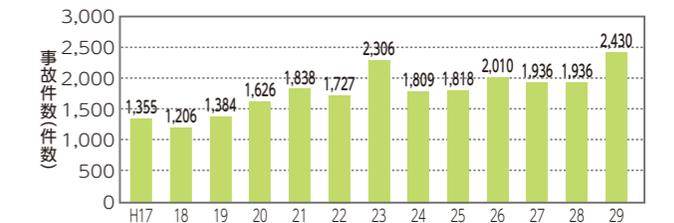
シカ肉は高たんぱく・低カロリー・
豊富な鉄分で今注目の食材！

ヘルシーで
私たち女性にも
ウレシいわね！

データ 5 農林業被害 被害の約50%は牧草被害



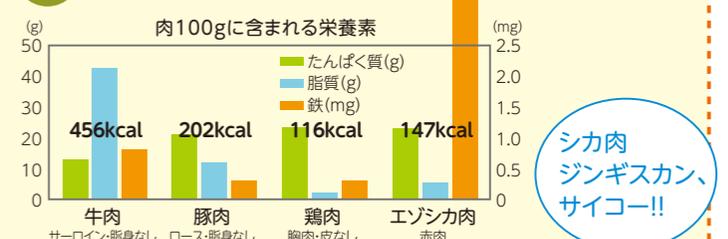
データ 6 エゾシカによる交通事故発生件数の推移(全道) (参考)エゾシカによるJR列車の運行支障件数(H29)は2,578件



コラム 1 エゾシカ資源を有効に活用しよう！

禁猟が続き、エゾシカ肉を食べる文化が忘れられてしまいましたが、アイヌの人々や明治の初めには、貴重な食料として親しまれていました。エゾシカ肉は優れた栄養成分を持つ北海道固有の天然資源です。現在北海道では、安全・安心なエゾシカ肉を食べていただくため、肉処理施設を認証しているほか、毎月第4火曜日を「シカの日」としてPRするなど消費拡大に取り組んでいます。

データ 7 エゾシカ肉の特徴 高たんぱく、低カロリー、鉄分豊富



シカ肉
ジンギスカン、
サイコー!!



③海獣類

北の海でたくましく生きる海獣たち。

北海道沿岸には、5種のアザラシ(ゼニガタ、ゴマフ、クラカケ、ワモン、アゴヒゲ)が回遊・生息しています。そのうちゼニガタアザラシは本道で繁殖をし、他のアザラシは、サハリン沿岸やオホーツク海の流氷上などで産卵し、流氷とともに本道にやってきます。そのほかトドやキタオットセイが10月～6月の間、ロシアやアメリカから南下して本道各地の沿岸・近海で過ごします。まさに北海道は「海獣たちのパラダイス」といえますが、海獣類による漁業被害はとて深刻になっています。

海獣類の生態を知ろう!

ゼニガタアザラシ

- ・多くは黒っぽい身体に白い銭模様がある。岩礁で子育てし、北海道で繁殖・定住。
- ・オス成獣で体長190cm・170kg、メス成獣で体長170cm・140kg。
- ・出現地:えりも町、厚岸町など。準絶滅危惧種。



ゼニガタアザラシ:写真提供/ えりも町

ゴマファザラシ

- ・身体にゴマのような模様がある。流氷の上で子育てし、赤ちゃんは白いうぶ毛におおわれているが、離乳の頃には大人と同じゴマ模様になる。
- ・オス成獣で体長170cm弱・90kg、メス成獣で体長160cm強・75kg。
- ・出現地:宗谷管内～後志管内の日本海沿岸、根室管内沿岸。



ゴマファザラシ

クラカケアザラシ

- ・首や腰などにある、馬の鞍をかけたような白い模様は、大人になるにつれ現れる。
- ・成獣で体長160cm・80～90kg。
- ・出現地:オホーツク海近海。



クラカケアザラシ:写真提供/ オホーツクとっかりセンター(紋別市)

ワモンアザラシ

- ・背中に輪が並んだ模様がある。子育てのとき、流氷に巣をつくる。
- ・世界最小のアザラシで、成獣の体長120～130cm程度。
- ・出現地:オホーツク海近海。



ワモンアザラシ:写真提供/ オホーツクとっかりセンター(紋別市)

アゴヒゲアザラシ

- ・大型で、密集して生えている長いひげが特徴。北極圏に生息しているため、北海道でみかけることは少ない。
- ・成獣のオス・メスとも体長230cm・体重230kg。

トド

- ・アシカ科で世界最大。ハレムを作り繁殖。
- ・オス成獣で体長3m、体重1t・メス成獣で体長220cm、体重300kg程度。
- ・出現地:宗谷管内～渡島管内の日本海沿岸、根室海峡羅臼町沿岸。
- ・準絶滅危惧種だが漁業被害対策で最小限の駆除を実施。

キタオットセイ

- ・ヒレ以外は黒っぽい毛にびっしりおおわれている。長いひげと耳たぶが特徴。
- ・オス成獣で体長200cm、体重210kg、メス成獣で体長130cm、体重40～50kg。
- ・出現地:後志管内～渡島管内の日本海側。近年道内での出現数増加中。

漁業被害について



近年、海獣類による本道の漁業被害額は20億円を超えていましたが、平成29年度(2017)の報告では約15億6千万円と、前年に比べ27%減少しました。海獣別で見ると、トドによる被害額が全体の約75%を占めています。

ゼニガタアザラシはえりも地域、ゴマファザラシは礼文島、稚内市周辺などの漁業に打撃を与えていますが、これらは主に漁獲物への食害です。一方、トドやキタオットセイでは食害に加え、漁具被害が漁業者を苦しめています。



データ 平成29年度(4月～3月)の海獣類による漁業被害

(単位:万円)

区分	平成29年度(2017)	前年比増減
トド	117,870	△41,900(26%減)
アザラシ(ゴマフ、ゼニガタ)	25,545	△633(微減)
キタオットセイ	12,724	△15,347(55%減)
合計	156,139	△57,880(27%減)

(参考)北海道水産林務部まとめ

世界自然遺産 知床

～海と陸が一体となった生態系と生物多様性が高い評価～ 世界自然遺産となった知床がスゴイぞ!!

日本に残された最後の秘境「知床」。ここでは海、陸ともに野生動物本来の生態を観察できます。川ではヒグマがサケを捕り、森ではシマフクロウやエゾリスなど多彩な動物たちが暮らし、海ではクジラやシャチ、イルカが回遊します。冬になると海一面が流氷におおわれ、オジロワシやオオワシが飛来し、アザラシやトドなどの海獣類も来遊します。このような世界にも類を見ない、海・陸一体の生態系と生物多様性が高い評価を得て、平成17年(2005)に国内で3番目のユネスコ「世界自然遺産」に登録されました。その後、北海道では自然遺産の保全と適正な利用を進めるため、平成28年(2016)に「北海道知床世界自然遺産条例」を制定し、併せて毎年1月30日を「世界自然遺産・知床の日」と決めました。



知床で一生懸命生きてます。～知床の個性豊かな動物たち～

人間を寄せつけない厳しい地形、豊かな森と海に恵まれた知床は、野生動物にとって「最後の楽園」といえます。ここでは知床に暮らす代表的な動物たちを紹介します。

シャチ

海洋生態系の食物連鎖の頂点に立つ海の王者。全世界の海洋に広く分布しており、知床では、知床半島の東側、羅臼の沖合で観察できる。



オオワシ

黄色い巨大なくちばしと白い長めの尾が特徴。翼を広げると220～250cmにもなる。大型魚や水鳥を主食とし、冬にロシアから飛来する。



オジロワシ

褐色の身体と白い短い尾でオオワシと見分けられる。知床には一年中生息して繁殖するものと、冬鳥として飛来するものがある。



エゾモモンガ

夜行性で樹上で暮らす。大きな眼と飛膜が特徴。木々の間を20～30m滑空できる。体長15～18cm、体重80～120g。



エゾリス

頭から胴まで25cmあり、フサフサした長い尾をもつ。年中活動し、秋に木の実を地面に埋め、冬に掘り起こして食べる。



キタキツネ

北海道を代表するキャラクター・キタキツネは道内全域に分布。本州のホンダキツネとは同一種であるが、やや大型で、ふっくら太く長い尾と、淡い茶色の毛が特徴。



北海道の鳥「タンチョウ」が絶滅の危機からよみがえったのは 地元の人々の熱心な給餌活動など、長年の努力のおかげなんだよ。

国内で繁殖する唯一の野生ツルであるタンチョウは、明治初期からの乱獲と、開拓によって生息地である湿原が急激に減少したため、明治中期には絶滅状態となりました。

その後も長い間、個体数が数十羽で推移してきましたが、1950年代に入り、冬の餌付けに成功し、以来、地元の人々の献身的な給餌活動などにより、現在では一千羽を超える数が観察されるようになりました。



漢字で『丹頂』と書くけど、「頭のてっぺんが赤い」という意味なんだよ。

白い体に羽の黒と頭の先の赤がポイント。なんて優美なの!



タンチョウが千羽以上!これ、ホントの「千羽鶴」だね。

タンチョウの生態を知ろう!

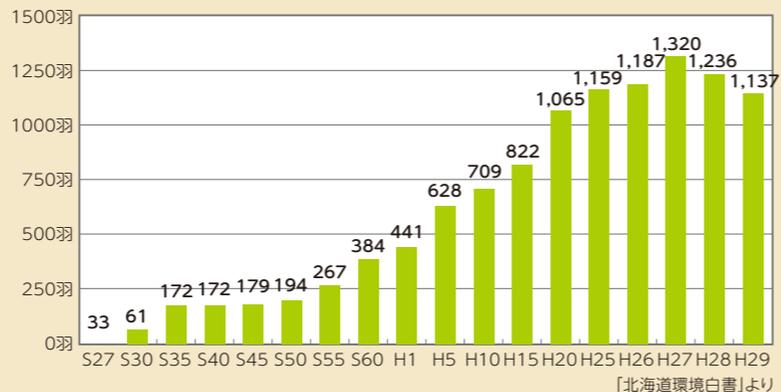
分類 ツル目 ツル科

分布・生態など 全長140cm、翼開長240cmに達する日本最大級の鳥類。一年中同じ場所で生活する「留鳥」(りゅうちょう)として国内では道東の釧路湿原を中心に分布している。一部は道央、道北へも飛来。繁殖期は4~5月で1~2個の卵を産む。夏期は湿原に分散して営巣し、雛を育て、冬は里近くへ移動し、群れで生活。給餌場としては釧路管内の鶴居村、釧路市(阿寒町)が有名。

食物 小魚、ザリガニ、小麦、米、トモロコシなど。

その他 文化財保護法に基づく特別天然記念物(昭和27年指定)
種の保存法に基づく国内希少野生動物植物種(平成5年指定)

データ 9 タンチョウ越冬分布調査(生息状況一斉調査)による観察数



豊かな自然のバロメーター~北海道の代表的な野鳥~

地理的、気候的な違いに加えて、本道では広大な草原が本州に比べ多く残されていて、草原性の野鳥が多いのが特徴です。その姿も本州以南とは異なる「北の野鳥たち」は、本道の豊かな自然のバロメーターとして、私たちの眼を楽しませてくれます。

シマエナガ(エナガ科)

白い顔と愛らしい姿から「雪の妖精」とも言われ親しまれている。低地から山地の林で身近に見られる。尾(柄)が長いことが名前の由来。



クマガラ(キツツキ科)

体長45cmという国内最大のキツツキで、国の天然記念物。道内には広く分布するが、本州では東北地方にごくわずかし確認されていない。



エゾライチョウ(キジ科)

国内では本道にのみ生息。全道に分布するが、近年数を減らし、出会う機会は少なくなっている。



シマフクロウ(フクロウ科)

世界最大級のフクロウで、アイヌの人々は「森の神様」としてあがめてきた。全長70cm、翼を広げると180cmにもなる。



ウトウ(ウミスズメ科)

日本海の大島に数十万羽生息。同島で4万羽から十数万羽に激減したオロロン鳥(ウミガラス)に代わって北の海鳥の代表格となっている。



ノゴマ(ヒタキ科)

オスは赤い喉が特徴で、小高いところからさえずるので目立つ、本道の代表的な草原の夏鳥。



コラム 2

~渡り鳥の保護のために~ 知っておこう!ラムサール条約のこと。

正式には『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約』といい、国境を越えて移動する水鳥の生息地として国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促進することを目的としています。

条約登録湿地の全国52か所(平成30年10月現在)のうち道内に13か所もあり、希少な野鳥や渡り鳥の重要な飛来地となっています。

データ 10 道内のラムサール条約湿地一覧

名称	所在地	登録年月日
① 釧路湿原	釧路市他	S55.6.17
② クツチャロ湖	浜頓別町	H元 7.6
③ ウトナイ湖	苫小牧市	H3.12.12
④ 霧多布湿原	浜中町	
⑤ 厚岸湖・別寒辺牛湿原	厚岸町	H5.6.10
⑥ 宮島沼	美唄市	H14.11.18
⑦ 雨竜沼湿原	雨竜町	
⑧ サロベツ原野	豊富町他	
⑨ 瀧沸湖	網走市他	H17.11.8
⑩ 阿寒湖	釧路市	
⑪ 風蓮湖・春国岱	根室市他	
⑫ 野付半島・野付湾	別海町他	
⑬ 大沼	七飯町	H24.7.3



湿地って、鳥や魚、植物などにとって、とても大切な環境なんだね。

① 釧路湿原
日本最大の湿原。
1980年、日本最初の登録地。



オイラは絶対反対!!

ゴーホーム!

もともと北海道にいなかった動植物が増えるって、先生、それって危険じゃないのかなあ?

大地くん、いいところに気が付いたね

以前は北海道にいなかった野生生物で、本道以外の地域から人間の活動によって持ち込まれた生物種を「外来種」といいます。外来種の中には、農作物や家畜・ペットなど、私たちの暮らしに役立つものもありますが、地域の自然環境に大きな影響を与えるものを侵略的外来種といい、地域の生物多様性を脅かすことから警戒が必要です。

①固有の生態系への影響

- 在来生物(地域にもともといた生物)を食べる。
- 在来生物の縄張りやエサを奪う。
- 在来生物と交雑し、雑種を作る。
- ウイルスや細菌等を媒介する。

外来種による3つの悪影響

②農林水産業への影響

- 農林水産物を食べる。
- 農地を踏み荒らす。
- 家畜に悪さをする。
- 納屋などにフンをする。

③人の健康等への影響

- 人を噛んだり、刺したりする。(毒をもっているものもいる。)
- 感染症等を媒介する。

ストップ!!

特定外来生物って、フツウの外来生物とはどう違うの?

もともと日本にいなかった生物(外来生物)のうち、特に生態系などに被害を及ぼすものを国では『特定外来生物』として指定し、飼育・栽培・保管・運搬、輸入、販売・譲渡、放出などを原則として禁止しています。(※註2)

(※註2) 国では「外来生物法」を制定し、平成30年(2018)4月末現在で、特定外来生物としてアライグマなど、交雑種を含む148種類を指定しています。

特定外来生物アライグマのケースについて、調べてみよう!

テレビアニメがきっかけで、アライグマがペットとして輸入され、一大ブームになったのは昭和53年(1978)のこと。しかし、直後から全国各地で逃げ出し、捨てられたアライグマが増えて野生化し、今日では農業被害など社会的な問題となっています。

本道では昭和54年(1979)に道央で10頭が逃げ、野生化したのが始まり。その後も生息域を拡大し、平成30年(2018)現在では156市町村で目撃、あるいは捕獲の報告があります。



エッあの可愛いアライグマが害獣? ウソでしょ? オイラの方が可愛いってば!



平成29年度(2017)のアライグマの農業被害額は約9,750万円、捕獲数は約1.6万頭にのぼっています。

データ11 農業被害額と捕獲数の推移(全道)



農業被害の上位品目

- スイートコーン 35%
- 果菜類 13%
- いちご 12%
- メロン 8%など

特徴と生態

- 生態** 夜行性、天敵がない、力が強くて凶暴。
- 特徴** 尾はタヌキと比べて長くシマ模様がある。眉間に黒い筋。
- 大きさ** タヌキ<アライグマ
- 繁殖** メスは満1歳から出産可能。年一回春に平均3~4頭出産。死亡率は低く繁殖力が高い。

北海道では対策として外来種リストや詳しい情報を「北海道ブルーリスト2010」<http://bluelist.ies.hro.or.jp>にまとめ、ホームページで公表しています。

■特定外来生物のほかに道では北海道独自の「指定外来種」として、イノシシやチョウセンシマリス、ニホントカゲなど、動物10種・植物2種を独自に指定し、注意を呼びかけています。

先生、有害な外来種の侵入を防ぐにはどうすれば良いの?

外来種被害予防3原則

①入れない

悪い影響を及ぼすかもしれない外来種をむやみに道内に入れない。

②捨てない

ペットとして飼っている外来種を自然の中に捨てない。

③拡げない

自然の中にいる外来種をほかの地域に拡げない。

一人ひとりが責任を持って、「予防3原則」を守ることだよ!

人と動物がともに生きるために～ 考えよう「生物多様性」のこと。

生物多様性ってナーニ？

私たちの住む北海道には、森や川、草原、湿地、海など様々な環境で、個性豊かな生きものが、食う・食われる、花粉を運ぶといったさまざまな関係でつながりあって、生きています。

このような生きものの「固有性」とつながりを生物多様性といいます。

生物多様性の恵み

私たちは、自然から空気や水、食料や薬を得たり、木材から家を作ったり、自然の中でスキーやカヌーなどを楽しむことができます。

また、豊かな山林や広大な湿地は、大雨による洪水などの災害を軽減してくれます。

私たちの生活は、「生物多様性」がもたらす恵みによってつくられ、守られているのです。

しかし、今、北海道の「生物多様性」に4つの危機が迫っています。

第一の危機

人間活動や開発による生態系の破壊、野生生物の種の減少・絶滅



第三の危機

外来種など人間により持ち込まれたものによる生態系の破壊



第二の危機

自然に対する働きかけの縮小による影響（耕作放棄地の増加、狩猟者の減少など）



第四の危機

地球環境の変化による危機（気候変動・地球温暖化）



北海道の自然が危ない!?
生物多様性の4つの危機とは？

オイラも森の仲間たちも北海道に住めなくなっちゃうのかなあ…。

今、多くの生きものが絶滅の危機だって聞いたことがあるよ。先生、どうして？

そうだね。地球上の生きものは恐竜が減ったときよりも、はるかに早いスピードで絶滅していると言われてるよ。それは、人間のせいでもあるんだよ。

えっ—！

地球上にはいろいろな生きものがいて人間もその中の1つ。私たちはあらゆる生きものから様々な形で恵みを受けているんだよ。でも、人間はその生きものたちのつながりを壊す存在になってしまっているんだ。

私たちはたくさんの生きものや自然によって支えられているのね。

これ以上、自然を失ってはいけないよね。人と生きものがバランス良くくらし行ければいいのに。

人と動物が共に生きるためには、みんなが「生物多様性」について、しっかり理解して、生きものが暮らす環境を守るために行動することだよ。

わたしたちもできることがあるの？

コラム 3

北海道の生きものたちを守ろう！

これまで見てきたとおり、北海道でも野生生物の減少が進んでいて、特に将来は絶滅するかもしれないものを「絶滅危惧種」(※註3)と呼んでいるんだ。

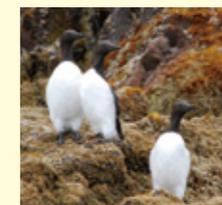
これら希少な野生生物をしっかり保護して、生物多様性の保全を図ることがとても大切だね。そこで北海道では対象になる野生生物の情報をとりまとめた「北海道レッドデータブック」を作成し、今、どんな生物に危機が迫っていて、保護が必要かを多くの人々に知ってもらいたいと考えているんだよ。

■絶滅が心配される希少野生鳥類

タンチョウ、シマフクロウ、ウミガラス、エトピリカ、オジロワシ、オオワシなど



エトピリカ
アイヌ語で「美しい口ばし」という意味をもつ。根室市のユルリ島とモユルリ島のみで少数が繁殖している。



ウミガラス(オロロン鳥)
その鳴き声から「オロロン鳥」とも呼ばれる。天売島は国内で唯一の繁殖場所だが、近年は数十羽しか確認されていない。

(※註3) 正確には次の9種類の категорияに分かれています…絶滅(Ex)・野生絶滅(Ew)・絶滅危機IA類(Cr)・絶滅危機IB類(En)・絶滅危機II類(Vu)・準絶滅危惧(Nt)・留意(N)・情報不足(Od)・絶滅のおそれのある地域個体群(Lp)

生物多様性を守るための第一歩は身近なところから行動を起こすこと。
一人ひとりが生物多様性との関わりを日常の暮らしの中でとらえ、実感し、
実行しましょう!

～人と動物が元気に暮らす未来のために～

一人ひとりのアクションが生物多様性を守ります。

Act1

たべよう!

地元でとれたものを
食べ、旬のものを味
わきましょう!



生物多様性 5つのアクション

まもろう!

生きものや自然、人
や文化とのつながり
を守るため、地域や
全国の活動に参加
しましょう!



Act4

Act2

ふれよう!

自然の中へ出かけ、
自然や生きものに
触れましょう!



えらぼう!

エコマークなどがつ
いた環境に優しい
商品を選んで買い
ましょう!



Act5

Act3

つたえよう!

自然の素晴らしさや
季節の移ろいを感じ
て、写真や絵、文章
などで伝えよう!



その他

できることから始めよう! 始めたら続けよう!

- 野生動物にはエサをあげない。
- ペットは最後まで責任を持って飼おう。
- 生き物と人のつながりをふだんから考えよう。
- 省資源・省エネルギーに取り組もう。

(一財)道薬検は、昭和52年から水道法における

水質検査機関として、迅速で精度の高い検査を行っています。

道薬検は、昭和52年に水道法第20条指定検査機関の指定を受けて(現在は登録機関)、各市町村の水道の検査を実施してきました。

水道水は常に衛生的で清浄な状態でなければならず、その確認の検査を担ってきました。

当然のごとく事故、トラブルで給水ができない事態にも何度も遭遇してきました。道薬検は、これらの経験から、迅速で精度の高い結果が必要と認識し、機器の多数台の整備、試験室の環境整備、人員の教育訓練を重ね、全項目検査(基準51項目)は24時間で結果を出せる体制で検査を行っており、通常の検査も迅速に結果報告を行っています。

当然、これらは精度が高く、正しいものではありません。これを維持するために設備投資、教育訓練に力をいれ、技術力のアップを兼ねて新規項目の立ち上げなども行っています。

私たちが住む北海道は、幸いにも水量が多く、綺麗な水が多く恵まれていて、このことに慣れてしまっています。

これからは、自然破壊の影響で水事情が悪くなる可能性もあり、一人一人の心がけにより守らなければならず、水を守る一員として道薬検も一緒に担って行きます。



第3理化学検査室
低濃度検査室(飲料水の理化学検査を行う検査室)



第1細菌検査室
低濃度検査室(飲料水の一般細菌、大腸菌の検査を行う検査室)

一般財団法人として、さまざまな健康啓発活動をおこなっています。

道薬検は健康に関する冊子発行や、専門の講師を招いた「健康セミナー」開催などの啓発活動をおこなっています。くわしくはホームページをご覧ください。



2018年11月の「健康セミナー」会場風景(STVホール)



これまで発行した主な冊子の表紙

道薬検

検索

そこが知りたい Q & A

Q1 エキノコックスってなに？

A1 エキノコックスはキタキツネなどの体内にいる寄生虫のことです。

北海道にはエキノコックス症という他の都府県ではあまり見られない病気があります。エキノコックスはキタキツネなどの体内にいる寄生虫で、人では主に肝臓に寄生し、道内では毎年20名前後の患者が見つかっています。



どのように人に感染するの？

- エキノコックスの卵が口に入ってしまった場合に感染することがある。寄生したキタキツネやそのフンに直接触れたり、フンに汚染された山菜や沢水を口にすると感染の危険がある。寄生サイクルは、キツネは感染した野ネズミを食べて感染し、野ネズミはキツネのフンに含まれる卵を食べ感染する。
- 人から人や、野ネズミから人に直接感染することはない。

感染は予防できるの？

- エキノコックスの卵が口に入らないようにすることが大切です。
- ① 外から帰ったら必ず手を洗うこと。
 - ② キツネに餌をあげたり、触ったりしないこと。
 - ③ キツネが近寄らないよう、生ゴミ等は適正に処理すること。
 - ④ 山菜や野の果実等は十分に加熱するか、よく水洗いしてから食べること。
 - ⑤ 沢水等の生の水は飲まないこと。飲む場合は煮沸すること。
 - ⑥ 飼い犬が野ネズミを食べないように、放し飼いにしたり野原や公園で放さないようにすること。

Q2 死んだ野鳥を見つけたけど、どうしよう？

A2 死んだ野鳥は素手で絶対触らないでください。

平成28年(2016)11月以降、全国的に野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)が確認されています。道内でもオオハクチョウなどの死亡野鳥から確認されていますので、野鳥と接するときは次の事項にご注意ください。



注意事項

- 死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけた場合は、素手で触らない。
- 鳥の排泄物に触れた後は、必ず手洗いとうがいをする。
- 水辺等に立ち寄って、野鳥のフンを踏んだ場合は、念のために靴底を洗う。

お願い

- 死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけたら、最寄の総合振興局(振興局)環境生活課までご連絡ください。
- その他のお問い合わせは、野鳥については総合振興局(振興局)環境生活課、ニワトリなどの家さんについては家畜保健衛生所、人の健康については保健所までご相談ください。

Q3 野鳥のひなを見かけたらどうしたら良いの？

A3 見つけてもそのままに！ 拾わずに、そっとしておいてください。

そっとしておいてください。近くにはヒナを見守る親鳥がいて、エサを与え続け、十分に育ったところで、そのヒナはひとり立ちしていくのです。もしヒナを拾って、家に持ち帰ったら、親鳥から引き離されて、逆に弱って死んでしまうかも。野鳥はペットとは違います。子育ては親鳥が一番。その子育ての邪魔をしないようにすることが何より大切なのです。



Q4 けがをした野生動物を見つけたらどうしたら良いの？

A4 けがや病気などで弱っている野生の鳥獣を「傷病鳥獣」といい、保護の対象になる場合があります。ただし、ペットや家畜、狩猟で傷ついた鳥獣、カラス、シカやアライグマなど有害捕獲の対象鳥獣は含まれません。

傷病鳥獣を発見したとき

- 「庭や公園など」で見つけたら、まず、慎重にけがや衰弱の具合を見ることが大切。むやみに手を触れたりせず、元気があればそっとしておくこと。
- 「自然の野山など」ではそのままにしておくことが生態系を守ることにつながる場合も。
- 巣立ちしたヒナや幼獣が動けなくなっても、近づいたり、連れてきてはいけません。近くに巣があり、親がいるはず。

傷病鳥獣の扱い方

- 野生の鳥獣はさまざまな病原菌を持っている場合があり、ゴム手袋などをはめて触るか、触った後は必ず手を消毒すること。
- 野生鳥獣の飼育は法律で禁止されています。一時的に保護した場合は速やかに放鳥・放獣してください。

手に負えないときは？

- 最寄りの総合振興局(振興局)環境生活課自然環境係に連絡してください。
- 法律により絶滅のおそれのある希少野生動物に指定されているタンチョウ、シマフクロウ、ウミガラス、オオワシ、オジロワシなどを保護した場合は、環境省の北海道地方環境事務所、釧路自然環境事務所に連絡してください。

北海道の動物は
ボクらの大切な仲間。
ルールやマナーを守って、
これからもヨロシクね。

